

# せたふく会編集局

この紙面は、世田谷福祉作業所利用者自治会『せたふく会』が発信する記事です。

利用者のつぶやき  
Tweet...

## まる見え☆せたふく特別対談

夏の大イベントを終えた心境を内山翔太氏(内)・大野あゆみ氏(大)に語ってもらいました。

Q.2回目のまる見え～を終えてどうでした？

内：僕は名刺の紙漉きを子ども達に教えたんだけど、にぎやかで楽しかったよ！

大：私は洗い物とかしながら参加したんだけど子どもが少なく…もっとおしゃべりしたかったな～って思った。

Q.今年は体験コーナーの参加者が少なかった。理由はなんだと思う？

内：やっぱりアレじゃない？(外を指さす)

大：かき氷！アレのせいでみんなこっちに来なかったよね！来年は体験もタダにしたら？



(あのTシャツの柄…)  
ハッピーターン…フフ。



からあげ弁当♪



せたふく通信 **わいわい** 平成30年10月5日発行  
第43号  
THE WAI WAI TIMES FRIDAY, OCTOBER, 5, 2018

- 今号の注目記事
- ☆ 謎団体セタフクーリズム
  - ☆ New! せたふくハプニング
  - ☆ せたふく会特別対談

※本紙は新聞なので記事の大半において、敬称略および「である調」による表現を使用しておりますが、発行上の演出であり、お世話になっている方々への感謝と敬愛の念は常に心に留めておりますので、何卒ご容赦ください。



カラフルクリソー♡

### 広告 ADVERTISEMENT

2018.10.31  
ハロウィン  
ランチパーティーは  
身内だけで開催や。

気づけば深まる秋だけと…

## びん入り ラムネ

まだまだ販売中。

1本  
¥100

二〇一八年、夏  
せたふくで起こった小さなミステリー！

あの日、僕たちが植えた朝顔は、  
ふた月過ぎた今もまだ咲かないし、  
枯れることもない。

2018年7月より  
絶賛公開中！

Attention!

## 武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が運営する25施設と7つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していきますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931  
東京都八王子市台町1-19-3  
電話・FAX：042-626-9772

Wanted!

## ボランティア募集中

世田谷福祉作業所では、利用者が毎日おこなう作業や、外出・地域交流などのさまざまなイベントをお手伝いして下さるボランティアを募集しています。

特に毎年11月3日に開催している地域交流行事『わいわい祭』においては、企画や運営からご協力いただける方を大募集中です！ご希望の方は作業所までご連絡ください。  
(田中千絵)

P.S.

## 編集後記

なれない作業に悪戦苦闘しながらも、毎号楽しみにされている方が多いことを信じて作っています。

広報誌を作るたび、ここ数か月の事を思い返します。世田福、利用者、仲間のことを思い返せる時間がある事を大切にしたいと思います。月日が過ぎる速さを実感しながらも、次号44号…どんな日々が過ぎていくのか楽しみです。  
(山岸靖隆)

社会福祉法人武蔵野会 世田谷区立世田谷福祉作業所  
〒154-0002 東京都世田谷区下馬2-31-34-101  
でんわ：03-3414-0141 FAX：03-3412-1084  
メール：m.setafuku@flute.ocn.ne.jp  
URL：setagaya2939.jp/



某日、“ヘルシーバイキング”を開催。から揚げは肉が大豆に、カルボナーラはパスタがしらたきに。想像よりおいしくて、たくさん食べた結果、ヘルシーを通り越してしまったような気がする一同。

1泊2日の旅行レポートを紹介。今回の行き先は伊豆大島、作業所史上初の船旅。参加者たちには緊張の中にも濃密な思い出になったはず。ここも東京。自然の魅力を感じたアイランド旅行であった。

酷暑の夏に涼しい屋内で映画鑑賞! そんなインドアのすばらしさを地域の人たちにもおすそ分け——世田谷福祉作業所シネマクラブ主催の『SING』上映会が開催された。期待に応じて来年も開催か?

6月某日、某所にある某ホテルにおいて、武蔵野会の永年勤続表彰式が開催された。勤続10,20,30年の節目を迎えた法人職員が一堂に会した。世田谷福祉作業所からも1名が勤続10年選手として出席。

6月23日、イイノホールにて武蔵野会セミナーが開催された。“ふつうの 暮らしのしあわせ”(頭文字でふ・く・し)。福祉の大切な部分を改めて考えさせられた。

『暑いな〜』『どこ行く〜』『まるみえ☆せたふくやってみよ』『えっ!!何それ?』『かき氷無料?』『行こうよ!!せたふく!!』きっかけは何でもいいのだ。今年は2日間で150名を超える来場者が訪れ、終始にぎわうイベントとなった。特にかき氷コーナーが。(記・山岸靖隆)



世田谷福祉作業所では今年から新たな外出行事が始まっている。主催は、『セタフクリズム』という仮想ツアー団体。前号『せたメシ』で紹介した『すき世の牛丼』といい、同作業所では、どこかで聞いたことがあるようなないような、怪しい名称・団体が次から次へと現れては消えていく。

本題に入るが、この外出行事は、『セタフクリズム』が企画した約20の日帰り外出プランから自分が参加したいプランにエントリーするシステムとなっている。豪華なホテルランチビュッフェ、劇団四季ミュージカル鑑賞、三鷹の森ジブリ美術館などのプランには申し込みが殺到した一方で、釣り堀でのんびり魚釣り、バッティングセンターでストレス解消といったプランはまったく人気なかったようだ。(記・中村勘太)



◀前菜から順を追って少しずつ食べる人、いきなり主食にがっつりいく人、それぞれの楽しみ方がビュッフェにはある。大判のローストビーフは想像以上だった。



▲ふふふ…支払いは私に任せなさい!



▲天空にペンギンいね〜写真と違うわ〜

### 建て物にもバーンアウトが存在か?

せたふく  
のつヨツク

作業所内はハラハラドキドキロマンティックが止まらない! そんなスリルを読者と共有する新コーナー『せたふくハプニング』、記念すべき最初のネタを紹介しよう。

作業所の移転もいよいよ現実味を帯びてきた——そんな矢先に天井から水漏れだ。連日、業者が来所して応急処置を施すも、別の場所から水が漏れ出すうちごっこの中、さらに今度は空き家となっている上層階にスズメバチの巣。しかし、これは上層階同様、空き家の巣だった。『まる見え☆せたふく』の開催中にも水漏れ対策を続け、ハチの巣の撤去作業がおこなわれる羽目になってしまった悲喜劇な世田谷福祉作業所。正式に移転の工事が決まるや否や建て物もバーンアウトしてしまったのだろうか?(記・中村勘太)



▲レトロで情緒があると思っていたけど、急に頼りなく不気味に見えてきた作業所外観…



▲中に何もいないと言われても、やっぱり見ると悲鳴をあげてしまう…



▲天井にできてしまった水漏れによるシミ。お肌と同じ…簡単には消せない。

現在、作業所の収入の要ともいえる製菓作業部門。今年もお中元の季節が到来し、過ぎ去っていった。例年、団体・個人問わず、ギフトセットの大口注文が殺到するが、今年は新たな顧客から大量受注があり、空前絶後の忙しさ。

丸1週間、息つく間もなくいつもの二倍速の動きで皆が働いた。その黙々と働く姿はなんとも凛々しくカッコいい♡すべてを納品し終えた後は、充足感に包まれていた。

次回はお歳暮。気づけばもうあと数か月である。今から気力体力を温存して来るときに備えている。(記・田中千絵)



▲ギフトセットは箱作りも重要。箱の山に埋もれそう…

### Schedule

〔販売会出店予定〕

☆10月7日(日)

せたがやパン祭り

☆11月10日(土)

ごきんじょ市

☆11月11日(日)

第13回世田谷246

区民ハーフマラソン

皆さまのご来場お待ちしております!

〔イベント・セミナー情報〕

☆11月3日

今年も開催! わいわい祭。  
昨年は施設開所50周年を祝い盛大に開催したわいわい祭ですが、今年も勢い衰えることなく盛り上げていきますのでお楽しみに♪

いとくみこの

こんにちは、皆さん!

Hello, Everyone!

「くろがねの 秋の風鈴 鳴りにけり」(飯田蛇笏)  
すっかり秋の気配です。隣地の工事現場からは、くろがねの風鈴ならぬ、ハンマーや重機の音…、都営下馬二丁目団地の建替えがいよいよ始まりました。世田谷福祉作業所は、平成32年2月に竣工予定のこの建物1・2階部分に移転し、新たに生活介護事業を加えて、同年4月運営を開始します。工期の変更等、都や区の行政の方々、町会や地域・区民の皆様など多くの方々のご尽力、ご協力あつての着工、感謝の念で一杯です。

東京都では築30年以上の特別養護老人ホームが96棟、障害者支援施設が30棟(2017年東社協調査)、世田谷区では2029年度までに区立のデイ・ホーム21施設、福祉作業所は27施設(中長期保全計画)が老朽化により建替えや改修工事を予定とのこと。その多くの場合、工事の仮移転用地と設備の確保が問題となるため、東京都、世田谷区では仮設ではない、代替施設の整備が行われています。その点、隣地に施設が建築され、引越も1回の当施設はこの上なく恵まれています。

今後は、工事期間中の安全と滞りない移転の準備、そして52年の使命を全うする施設の看取りを、全力で担って参ります。